

道道除雪に関するお願い

- 除雪は、降雪量がおおむね 10cm 以上になったときに出勤します
- 万一の際の救出作業は行っていません
車が立ち往生した場合、レッカー会社などの専門業者にご連絡ください。
- 「カット排雪」を行います
従来、市街地における排雪は、堆積した雪をすべて取り除いていましたが、現在は部分的に取り除く「カット排雪」を基本としていますので、ご理解をお願いします。
- 道路への出入り口は各個人（各社）で除雪・排雪をお願いします
- 危険ですので、除雪車両に近づかないください
- インターネット道路情報
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
- 問合せ
オホーツク総合振興局網走建設管理部
北見出張所施設保全室 (☎ 25-7311)

水道の凍結に注意を!!

水道が凍結しやすい季節になりました。気温がマイナス 4～5℃ になると、日中でも水道が凍ることがあります。長期間家を空けるときの凍結注意報が出たときは、水道凍結に十分注意しましょう。

■ 水道を凍結から守るには ■

- 床下の換気口を閉め、冷たい風を防ぎましょう。
- 水道の水抜き栓を動かし、正常に水落としができることを点検しましょう。(蛇口から水を出した状態で水抜き栓を「止まる、または、水抜き」に動かし、蛇口に軽く当てた指先や手のひらが吸い付くようなら正常です)
- 外出時や日中でも寒さが厳しいときは、必ず水落としをしましょう。

■ もし、凍らせてしまったら ■

水道が凍結したときは、水道管にタオルなどを巻き、80度前後のお湯をかけて15分程度そのままにしておくと、軽い凍結であれば水が出ることがあります。

それでも水が出ないときは、指定給水装置工

12月13日まで展開中
今年も「歳末たすけあい運動」が、12月1日から13日まで行われています。
皆さんからの募金は、町内会・実践会を通じてお願いをしています。社会福祉協議会(☎47-3536 総合福祉センター内)の窓口でも受け付けていますので、心温まるご協力をお願いします。
皆さんからお寄せいただきました募金は、訓子府町共同募金委員会理事会で配分先と配

分金額が決定されますが、例年、ひとり親世帯、75歳以上の単身世帯、くねねつぶ静寿園、グループホーム「はるる」に「まごころプレゼント」として現金を贈り、皆さんの温かい気持ちをお伝えしています。
赤い羽根共同募金の中間報告
10月1日から、町民の皆さんにご協力をいただいています。「赤い羽根共同募金運動」は、11月10日現在で、111万7,687円の募金が寄せられています。皆さんのご協力に、心より感謝申し上げます。

事業者に連絡してください。
注意：凍結した箇所を直接、熱湯や直火を当てると、管の破裂や火災の危険があります。

■ 凍結修理費用は、使用者の自己負担です ■
配水管（町が所有している本管）から分岐して家庭の蛇口までの部分を「給水装置」と言います。

町が貸し付けしている水道メーター以外の給水装置は、個人の所有物（財産）です。所有者や使用者が維持管理することになっていますので、水道凍結の修理や改造にかかる費用は、皆さんの負担となります。

訓子府町内指定給水装置工事事業者 (町外指定給水装置工事事業者 17社)

(有)武田建設	栄 町	☎ 47-2223
黒川管機工業所	末広町	☎ 47-4337
訓子府機械工業(株)	東 町	☎ 47-2131
丸建工業(株)	穂 波	☎ 47-3036
長谷川水道設備	日 出	☎ 67-3750
久島工業(株)	東 町	☎ 47-2038

※町外指定業者についてのお問い合わせは上下水道課 (☎ 47-2118) へ。

防災・減災講演会～新潟中越地震から学ぶ



NPO 法人防災サポートおぢや理事長
関 広一 前新潟県小千谷市長招き



「自助・共助・公助」のありかたを講演
防災は共助と忍耐

訓子府町、訓子府町防災会議主催、町内会連絡協議会、実践会連絡協議会共催の「防災・減災講演会～新潟中越地震から学ぶ」が11月5日夜、町公民館で開かれました。
講師は、新潟県小千谷市の前市長で、NPO 法人防災サポートおぢやの関広一理事長。
関理事長は、平成16年の新潟県中越地震の際、小千谷市長として災害復旧、復興に陣頭指揮を執り、その経験などから防災・減災の大切さを全国に広める活動を続けています。
「自然災害から学ぶ 防災は共助と忍耐」をテーマに講演しました。関理事長は、小千谷市の被災の生々しい状況などを、写真を使い説明し、「まず自分の身を守ることを、それができなくては地域の助け合い(共助)はできない」とするとともに、地域独自の避難所設置などで地域の助け合いが効果的だったことを強調し、自助・共助・公助の役割分担を中心に講演しました。
会場には、町内外から約200人が参加し、関理事長の講演に真剣に耳を傾けていました。

防災・減災写真展も開催

防災・減災写真展を、11月3日から11月15日まで町公民館ロビーで開きました。



11月5日の防災・減災講演会に合わせ、町と町防災会議が開催したもので、講演会最中は公民館講堂に展示しました。

講演の講師・NPO 法人防災サポートおぢやの関理事長のご協力で、平成16年の新潟県中越地震での小千谷市の被災状況を撮影した写真20点のほか、町内の災害状況写真なども展示しました。

期間中、大勢の町民の方が訪れ、大災害の状況を見るとともに、防災・減災について思いを巡らせていました。